

## 逆算 1 1ステップの逆算

$5 + \square = 8$  の $\square$ を求めるような計算を逆算といいます。

例題1、 $5 + \square = 8$  の $\square$ を求めなさい。

同じ形の式で、簡単な数字で考えてみましょう。(簡単な数字で考えるのは、算数の基本です)

例えば  $1 + 2 = 3$  という式を使います。

上の $\square$ の部分は、この式では「2」の部分になります。だから

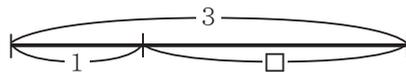
$$1 + \square = 3$$

という式の $\square$ の部分を求める方法が、解く方法となります。

$\square$ の部分は「2」ですね。「 $1 + \square = 3$ 」の式のわかっている数字は「1」と「3」で、それらを使って「2」を求めるには

$$3 - 1 = 2 \quad \text{という式が考えられます。}$$

線分図で考えると

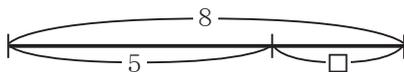


この図で考えると、 $\square = 3 - 1$  だとすぐにわかりますね。  
ですから、例題1の解き方は

$$5 + \square = 8$$

$$\square = 8 - 5$$

$$= 3$$



答、         $\square = 3$

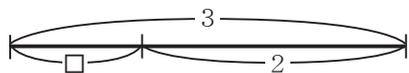
## 逆算 1 1ステップの逆算

例題 2、 $\square + 7 = 9$  の $\square$ を求めなさい。

簡単な式  $1 + 2 = 3$  の1の部分がわかりません。  $\square + 2 = 3$

$\square$  (ここでは1) を求めるには、わかっている「3」と「2」を使って、  
 $3 - 2 = 1$  となります。

線分図で考えると

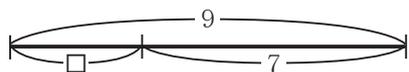


$\square = 3 - 2$  だということがわかるでしょう。

$$\square + 7 = 9$$

$$\square = 9 - 7$$

$$= 2$$



答、 $\square = 2$

足し算の逆算は、引き算になります。

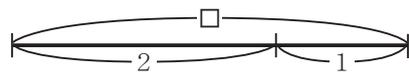
例題 3、 $\square - 3 = 4$  の $\square$ を求めなさい。

同じように、簡単な式で考えてみましょう。

$3 - 2 = 1$  の3の部分がわからない式と同じですね。  $\square - 2 = 1$

$\square$  (ここでは3) を求めるには、わかっている「2」と「1」を使って、  
 $2 + 1 = 3$  となります。

線分図で考えると



$$\begin{aligned} \square - 2 &= 1 \\ \square &= 2 + 1 \\ &= 3 \end{aligned}$$



## 逆算 1 1ステップの逆算

例題5、 $\square \times 7 = 56$  の $\square$ を求めなさい。

これまでと同じく、簡単な数字で考えてみましょう。(簡単な数字で考えるのは、算数の基本です)

例えば  $2 \times 3 = 6$  という式を使います。

上の $\square$ の部分は、この式では「2」の部分になります。だから

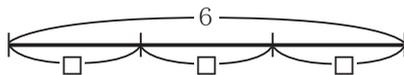
$$\square \times 3 = 6$$

という式の $\square$ の部分求める方法が、解く方法となります。

$\square$ の部分は「2」ですね。「 $\square \times 3 = 6$ 」の式のわかっている数字は「3」と「6」で、それらを使って「2」を求めるには

$$6 \div 3 = 2 \quad \text{という式が考えられます。}$$

線分図で考えると



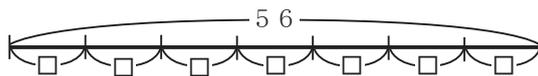
この図で考えると、 $\square = 6 \div 3$  だとすぐにわかりますね。

ですから、例題5の解き方は

$$\square \times 7 = 56$$

$$\square = 56 \div 7$$

$$= 8$$



答、       $\square = 8$

## 逆算 1 1ステップの逆算

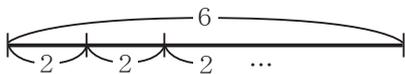
例題6、 $5 \times \square = 35$  の $\square$ を求めなさい。

簡単な式  $2 \times 3 = 6$  の3の部分がわかりません。  $2 \times \square = 6$

$\square$  (ここでは3) を求めるには、わかっている「2」と「6」を使って、

$$6 \div 2 = 3 \quad \text{となります。}$$

線分図で考えると



$$2 \times \square = 6$$

$$\square = 6 \div 2$$

$$= 3$$

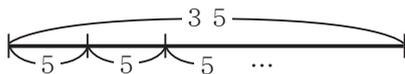
$\square = 6 \div 2$  だということがわかるでしょう。

したがって

$$5 \times \square = 35$$

$$\square = 35 \div 5$$

$$= 7$$



答、 $\square = 7$

例題7、 $\square \div 6 = 7$  の $\square$ を求めなさい。

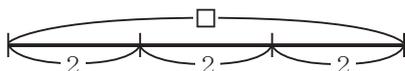
同じように、簡単な式で考えてみましょう。

$6 \div 3 = 2$  の6の部分がわからない式と同じですね。  $\square \div 3 = 2$

$\square$  (ここでは6) を求めるには、わかっている「2」と「3」を使って、

$$2 \times 3 = 6 \quad \text{となります。}$$

線分図で考えると



です。この図からも、 $2 \times 3 = 6$  と求められることがわかりますね。